

2020年4月17日

会社名	株式会社 ヴ ィ ッ ツ
代表者名	代表取締役社長 服 部 博 行 (コード番号: 4440 東証マザーズ)
問合せ先	専 務 取 締 役 脇 田 周 爾 (TEL 052-220-1218)

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催致しましたので、お知らせいたします。

【開催状況】

開催日時	2020年4月17日（金）15時00分～16時00分
開催方法	電話会議による開催
説明会資料名	2020年8月期 第2四半期決算説明資料

【添付資料】

1. 投資説明会において使用した資料

Creating Life of Your Dreams
～ 半歩先の技術で人々の生活を豊かに ～



2020年8月期 第2四半期決算説明資料

株式会社ヴィッツ (東証マザーズ4440)

2020年4月



会社概要





株式会社 ヴィッツ

東証マザーズ(4440)



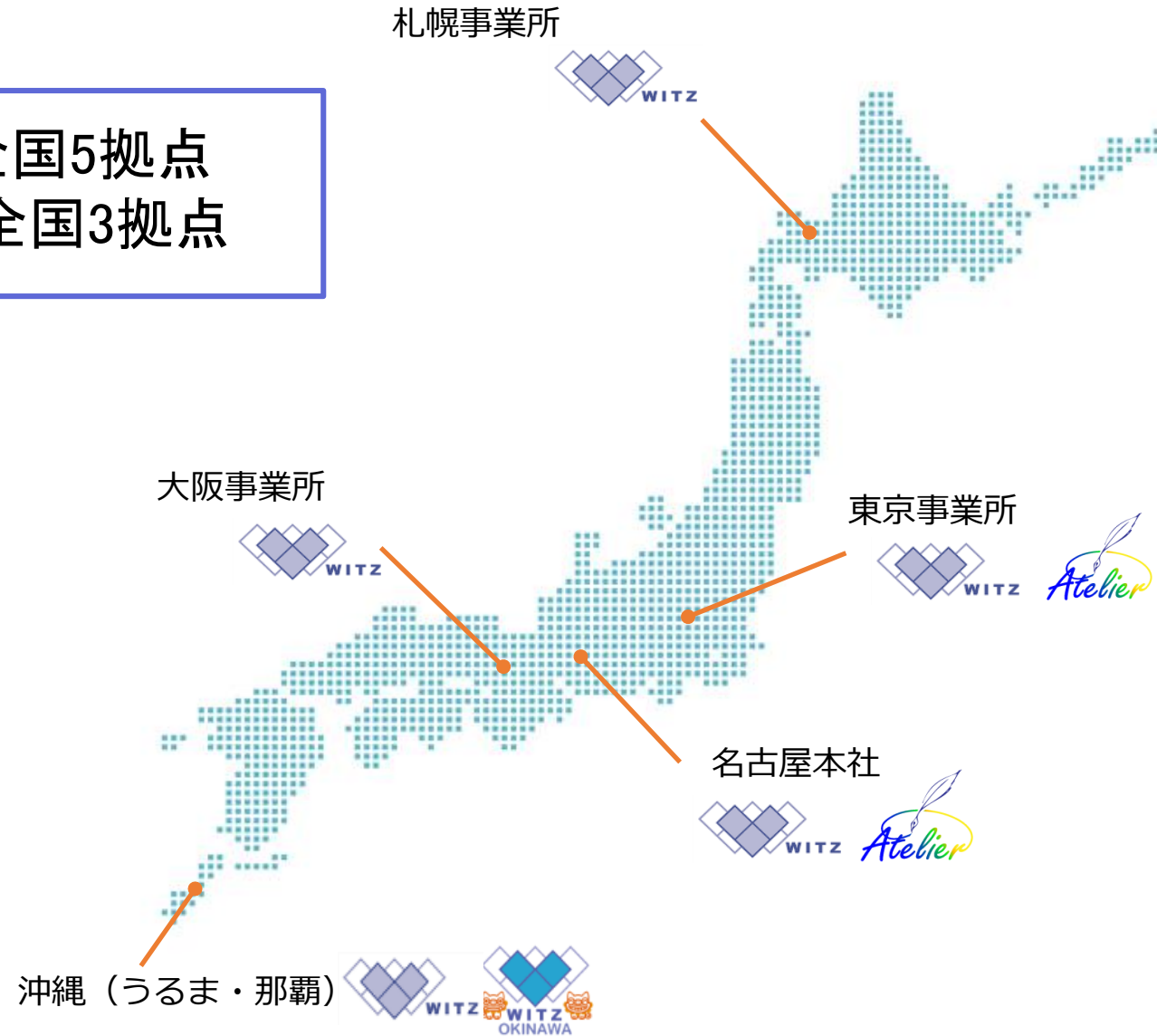
設 立: 1997年6月
資本金: 5億8,378万円
代 表: 代表取締役社長 服部博行

所在地: 愛知県名古屋市

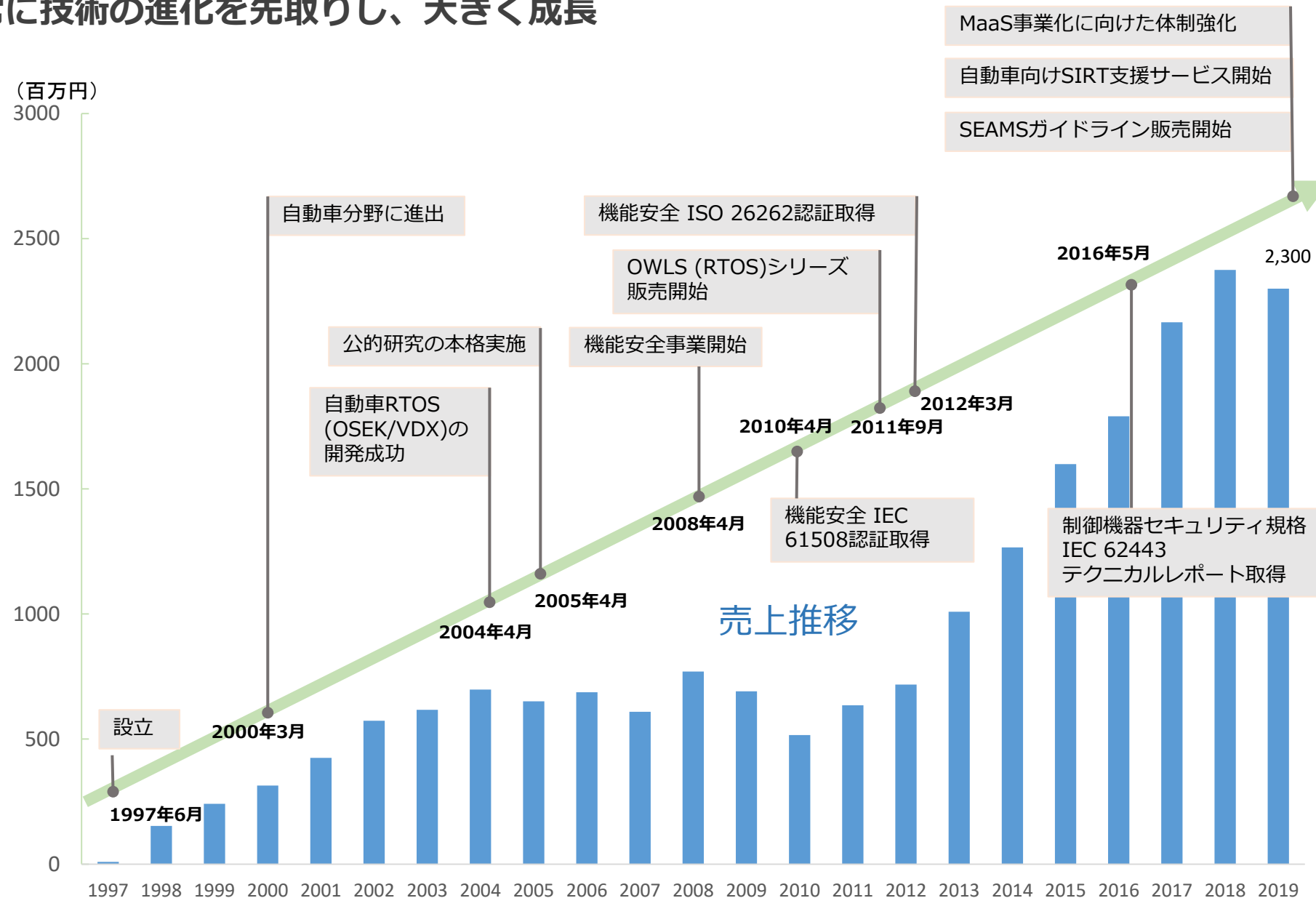
従業員: 連結162名(2020.2.29現在)

子会社: 株式会社アトリエ
株式会社ヴィッツ沖縄

ヴィッツ： 全国5拠点
子会社(2社): 全国3拠点



常に技術の進化を先取りし、大きく成長



事業内容(当社グループの事業構造)

組込システム事業

制御ソフトウェア
エンジニアリングサービス

リアルタイムオペレーティング
システム (RTOS) 開発、販売

自動運転技術研究と
技術支援サービス

組込セキュリティサービス

組込セキュリティ教育

システムズエンジニアリング事業

自動運転/先進安全向けシミュレ
ーション技術による開発支援

車載制御モデル開発

車載制御シミュレーション開発

人工知能の安全活用技術の研究

機能安全開発事業 (Safety & Security)

コンサルティング

プロセス開発支援

安全対策用技術コンテンツ販売

ソフトウェア開発支援ツール輸
入、販売

教育サービス

その他

(株)アトリエ

ソフトウェア開発に関する
新技術及び規格調査

(株)ヴィッツ沖縄

組込ソフトウェア評価・開発支援

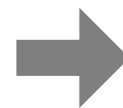
組み込みソフトウェアとは？

身近な組み込みソフトウェア：「スマートフォン」に使われています

組み込みソフトウェアを使用する前の世の中では、電話・カメラ・地図が独立しておりましたが、組み込みソフトウェアが普及した世の中では、電話・カメラ・地図の機能をスマホ1台で実現できております



組み込みソフトウェア 使用前



- ・電話
- ・カメラ
- ・電話帳
- ・地図
- etc..

組み込みソフトウェアとは？

スマートフォンの中には、小型のコンピュータと、
機能を実現するソフトウェアが入っています



=



小型の
コンピュータ

+



機能を実現する
ソフトウェア

製品メーカーで、組込みソフトウェアを
すべて「作り、維持する」ことは大変です

- ✓多くの専門家が必要
- ✓新しい機能、新しい機種、新しい技術に対応しなくてはならない
- ✓オペレーティングシステム (RTOS) の専門技術は特殊
- ✓セキュリティへの対応は必要



「組込みソフトウェア開発企業」に開発を委託する

組み込みシステムの製品例

多くの産業分野に利用され、IoT / CPS技術の進化とともに市場規模は拡大しています。

車載制御・車載機器



産業機械制御



デジタル家電制御



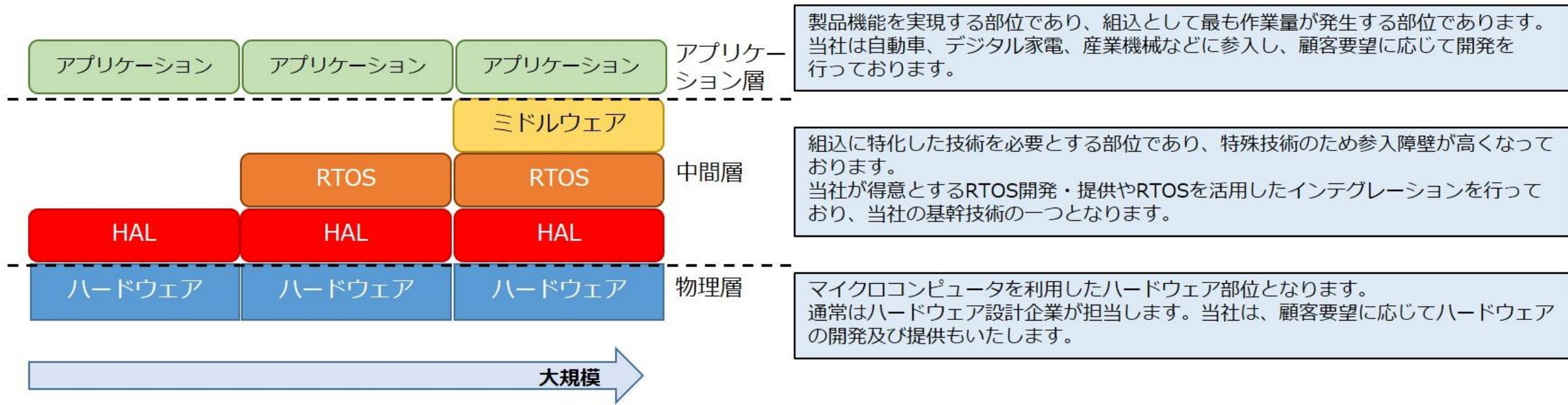
農業/建設機械制御



RTOS応用例

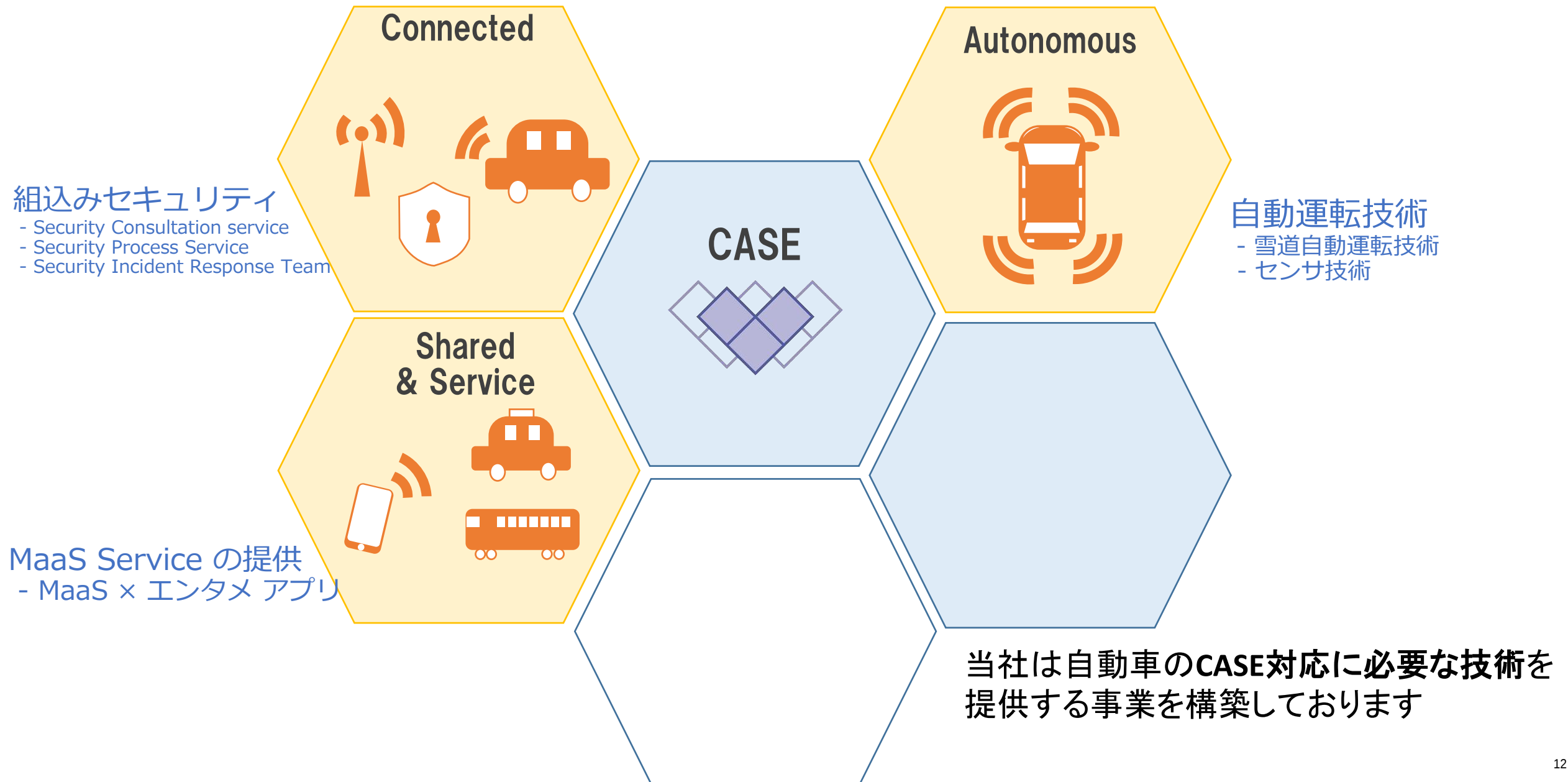


組込みシステムの三層構造



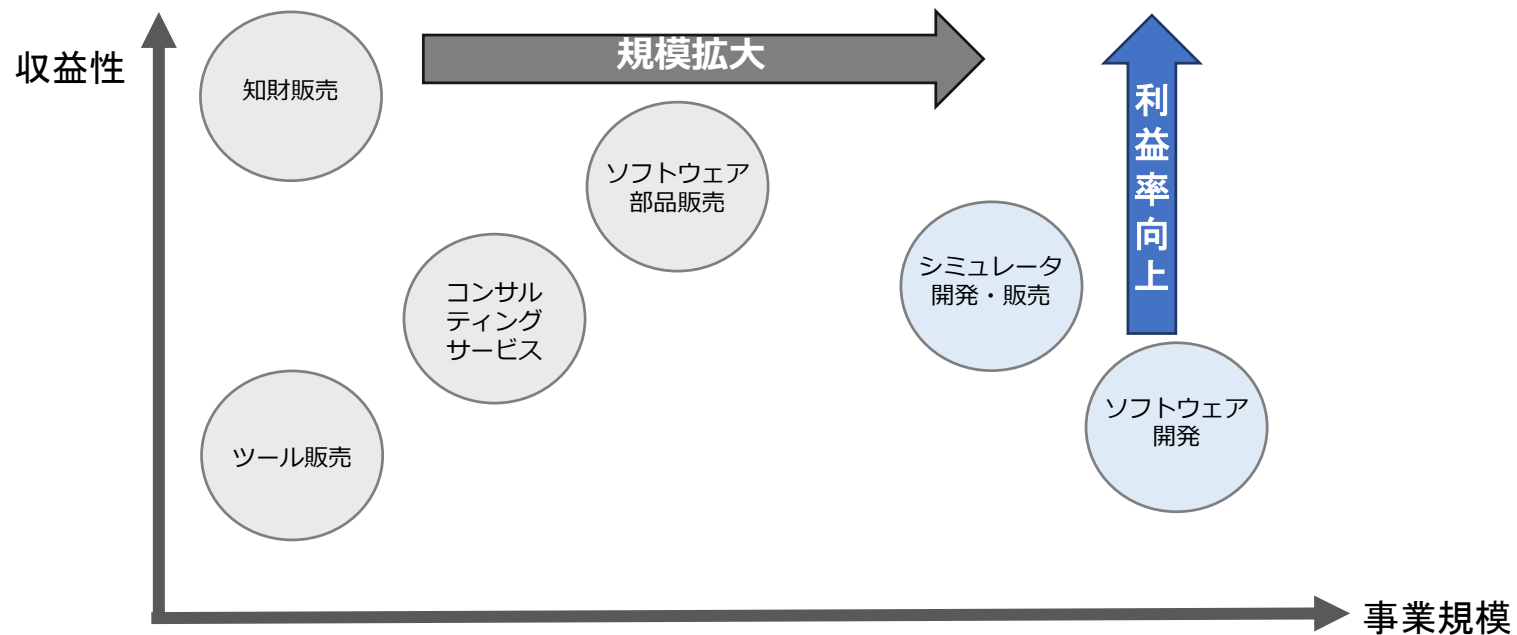
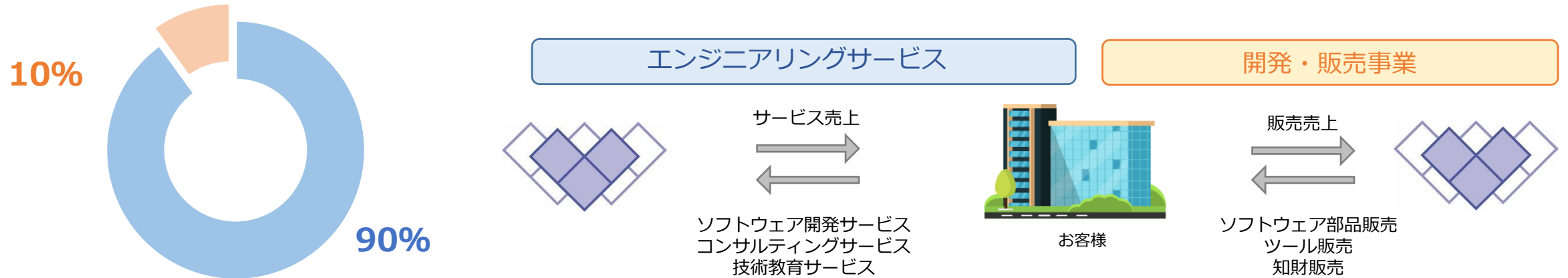
実現する機能規模に応じてソフトウェアの階層構造が変わります。当社はRTOSを利用しない小型の製品から比較的大きな規模の製品まで提供しております。

CASE対応について



当社の収益構造について

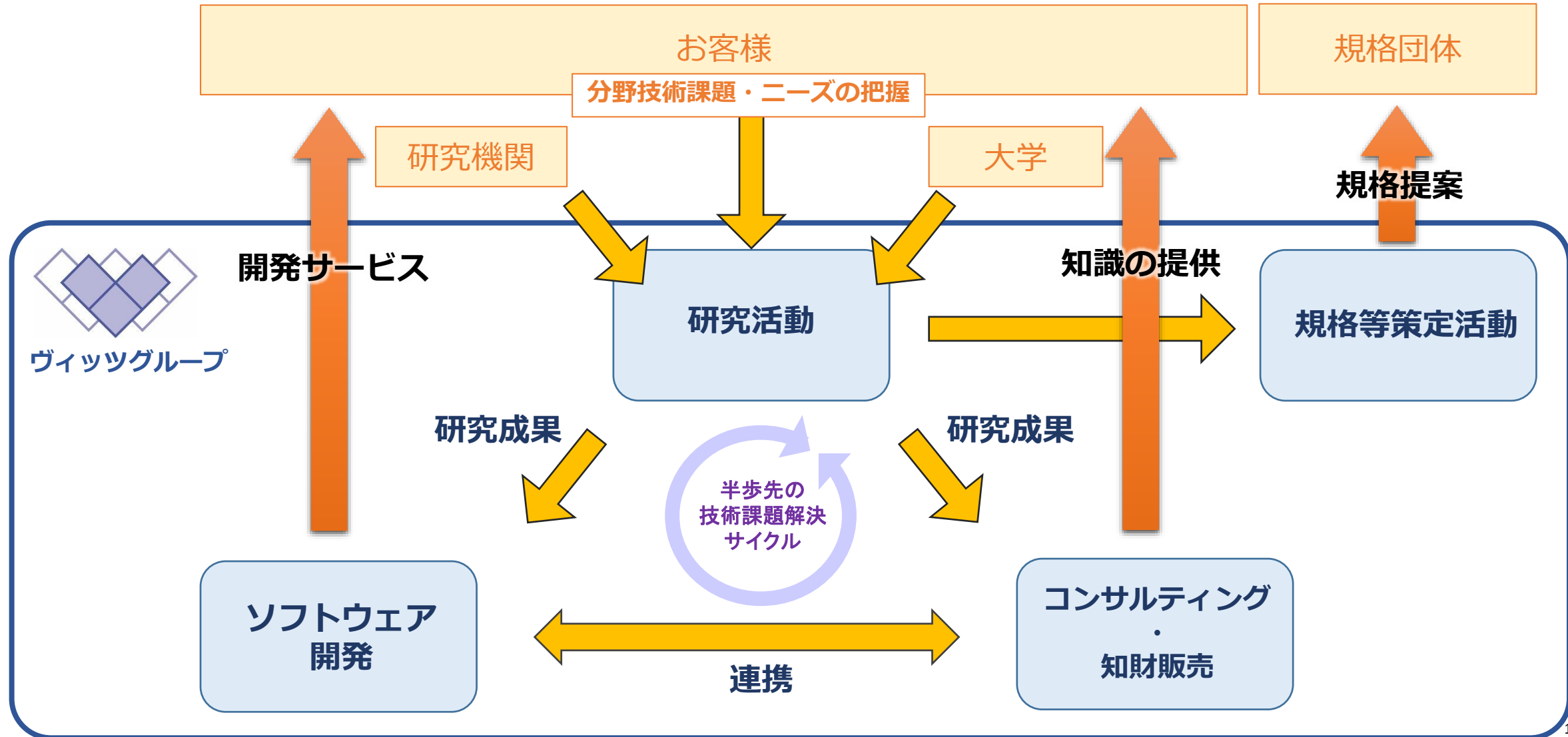
事業安定性の高い「エンジニアリングサービス」と
高収益を実現する「部品・知財」販売とを組合わせて、安定的な成長を実現しています



半歩先の技術課題解決サイクル

業界の新たな課題に対応します。

研究活動、ソフトウェア開発、コンサルティング・知財販売との連携で技術を拡大しています。



特徴と強み (中核技術の積算)

中核技術のすべてを提供できる企業は世界でもごくわずか

ウィッツの強み

他社の参入が難しい技術が主体

RTOS
(リアルタイム
オペレーティング
システム)



機能安全

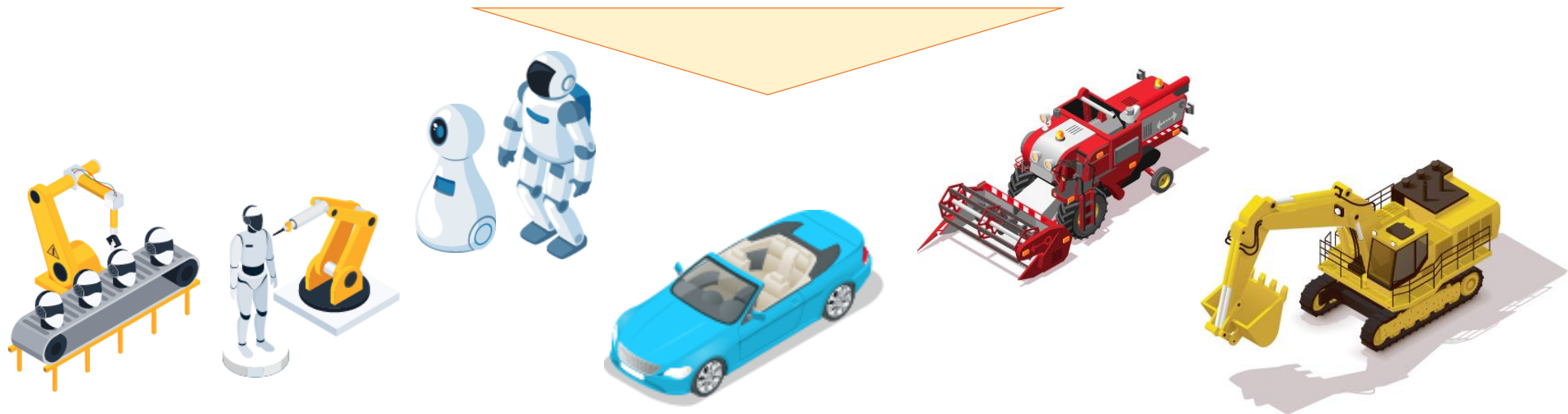


組込
セキュリティ



人工知能
安全活用

自律化システムなどを含め、現在～近未来の IoT/ CPS に必要不可欠な基礎技術



注釈) リアルタイムオペレーティングシステム (Real-time operating system; RTOS) は、組込システムで使われるオペレーティングシステム (OS) です。

2020年8月期 第2四半期決算概要

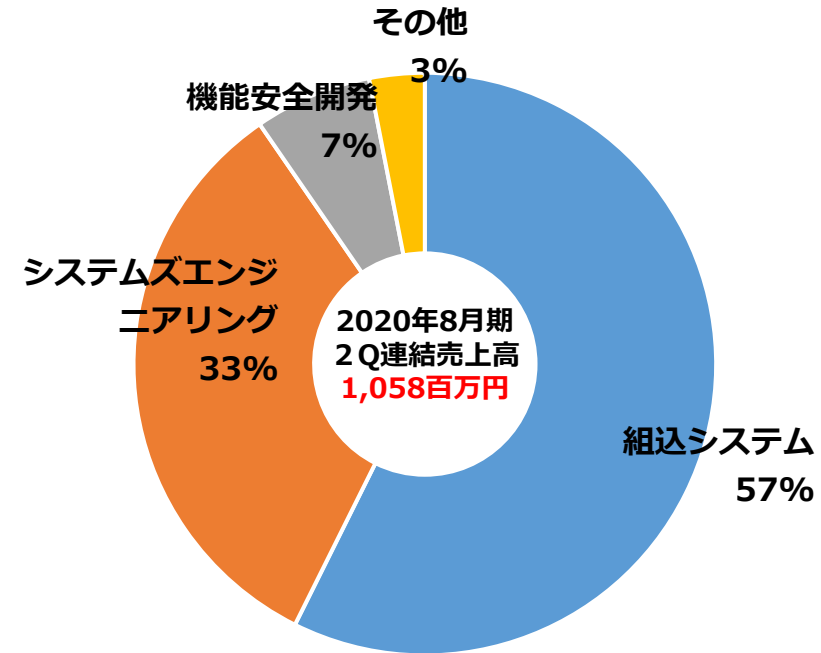
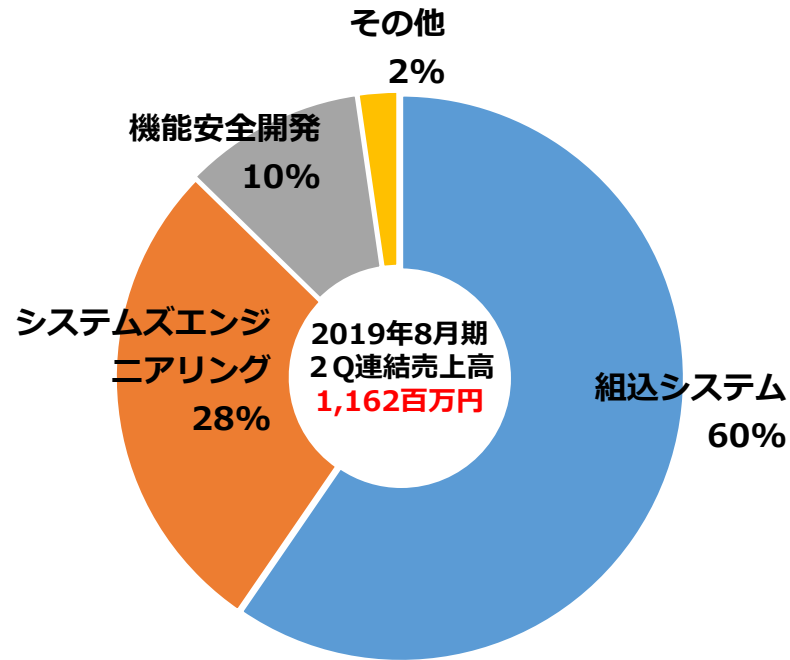
2020年8月期 第2四半期連結業績

米中貿易問題や欧州経済の不安材料等により、当社主要顧客の業績が悪化し年間の製品開発計画が見直されたことに伴い、業績に一部影響が出ております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,058百万円となり前年同期比8.9%の減収となりました。一方で、外注施策の厳格化、高付加価値事業へのシフト、不採算案件の発生防止体制の強化等により利益率の向上を図った結果、営業利益は139百万円（前年同期比25.3%増）、経常利益は141百万円（同28.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は90百万円（同25.4%増）となり、いずれも増益となりました。

単位：百万円

	2019/8期 2Q(実績)	2020/8期 2Q(実績)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,162	1,058	△103	△8.9%
営業利益	111	139	28	25.3%
経常利益	110	141	31	28.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	72	90	18	25.4%



※2020年8月期期首より組織変更を行ったことに伴い、2019年8月期2Qのセグメント情報は、セグメント間の組替を行った参考数値を記載しております。

【受注動向】

- 組込システム** : 組込ソフトウェア開発からセキュリティ支援業務へ徐々にシフトしております。
- システムズエンジニアリング** : 自動運転/先進安全向けシミュレーション技術により高収益化が進んでおります。
- 機能安全開発** : 足元景気の悪化に伴い、新規顧客からの受注に影響があります。

セグメント別連結売上高

組込システムは主要顧客の開発計画により減収となっております。
 システムズエンジニアリング事業の自動運転/先進安全向けシミュレーション技術への需要が伸びております。
 機能安全開発は受注までの期間が長期化し減収となっております。

単位：百万円

セグメント	2019/8期 2Q売上高 (実績)	2020/8期 2Q売上高 (実績)	前年同期比	
			増減額	増減率
組 込 シ ス テ ム	692	607	△85	△12.3%
シ ス テ ム ズ エンジニアリング	322	349	27	8.5%
機 能 安 全 開 発	120	69	△51	△42.8%
そ の 他	26	32	5	21.9%
合 計	1,162	1,058	△103	△8.9%

※2020年8月期より組織変更を行ったことに伴い、2019年8月期2Qのセグメント情報は、セグメント間の組替を行った参考数値を記載しております。

営業利益と営業利益率

- 組込システム** : 前年同期に抱えていた不採算案件が解消されたことなどにより利益率が改善しております。
- システムズエンジニアリング** : 当該事業の優位性を活かし高利益率化を実現しております。
- 機能安全開発** : 足元景気の悪化に伴い利益率が低下しております。
- その他**

単位: 百万円

セグメント	2019年 8月期2Q 営業利益	営業 利益率	2020年 8月期2Q 営業利益	営業 利益率	前年同期比	
					増減額	増減率
組 込 シ ス テ ム	108	15.7%	166	27.4%	57	53.1%
シ ス テ ム ズ エンジニアリング	99	30.8%	124	35.5%	24	25.0%
機 能 安 全 開 発	42	35.1%	18	26.1%	△24	△57.5%
そ の 他	26	36.8%	5	7.9%	△21	△79.3%
全 社	111	9.6%	139	13.2%	28	25.3%

※各セグメントにつきましては、連結相殺消去仕訳考慮前の営業利益及び営業利益率を算出しております。

※2020年8月期期首より組織変更を行ったことに伴い、2019年8月期2Qのセグメント情報は、セグメント間の組替を行った参考数値を記載しております。

1

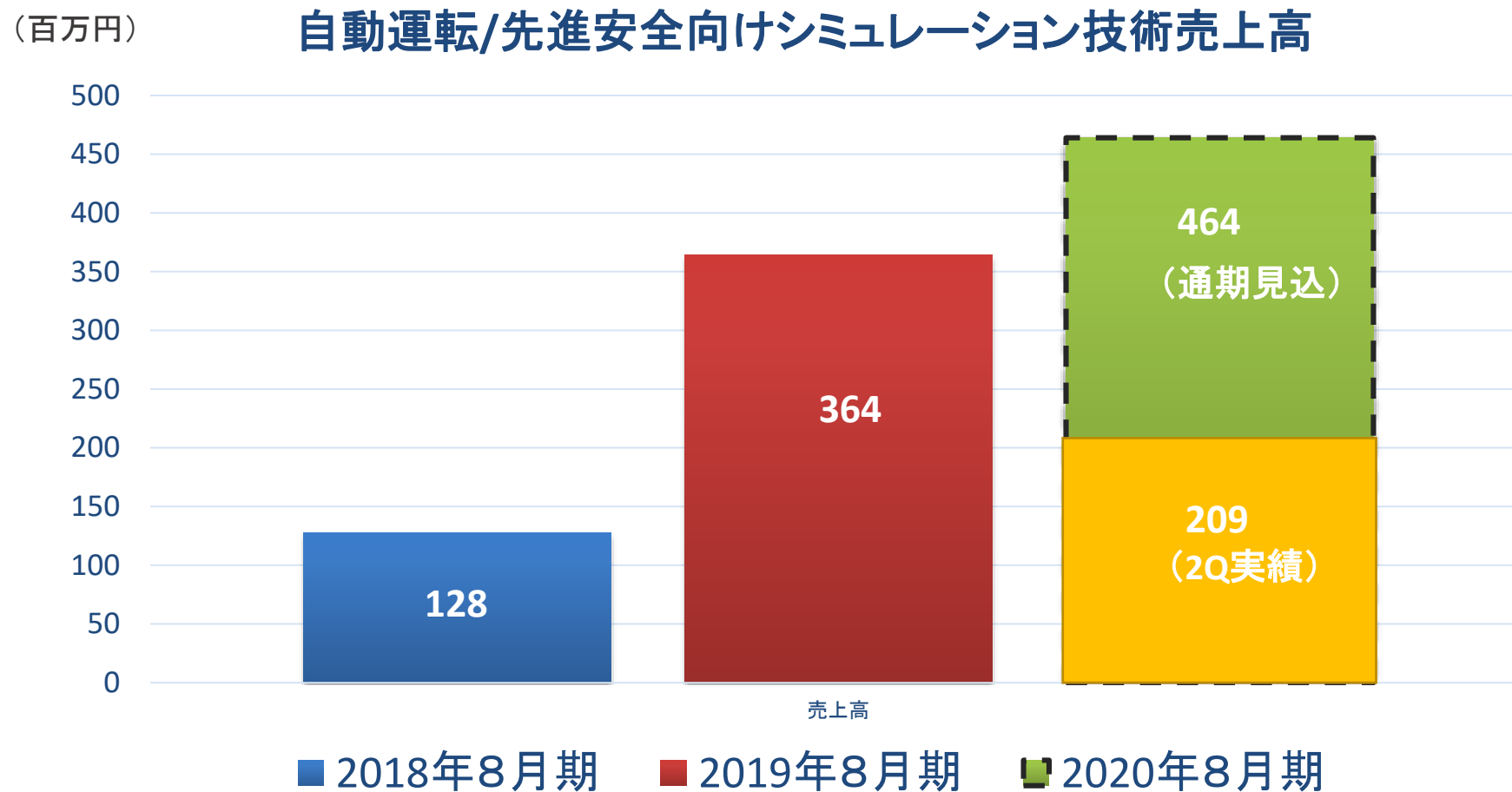
自動運転/先進安全向けシミュレーション技術が好調

2

研究成果：自律化システムの安全技術支援準備が完了

自動運転/先進安全向けシミュレーション技術が好調

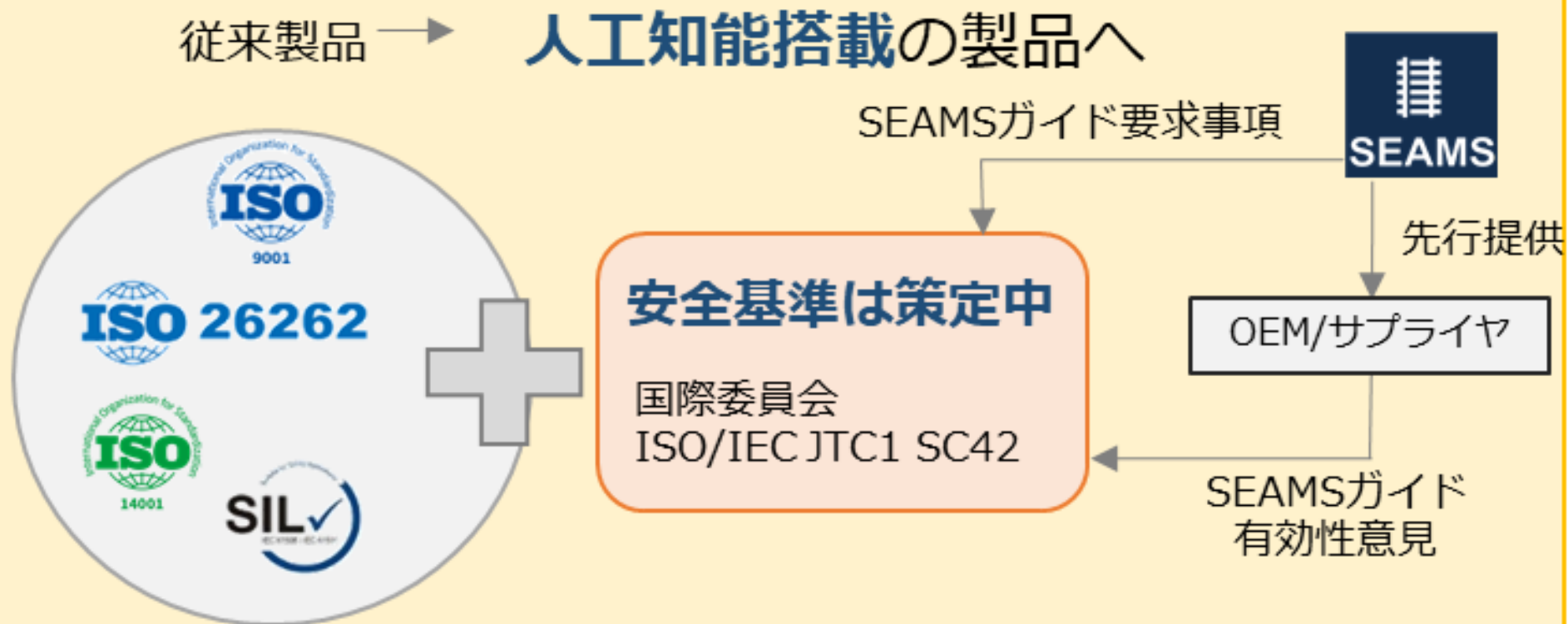
自動運転/先進安全向けシミュレーション技術の売上高が伸びております。



研究成果：自律化システムの安全技術支援準備が完了

自律化製品の開発には、新しい考え方による安全基準が必要となります。
当社は複数の研究から自律化システム(人工知能活用)の安全立証技術を得てガイドライン作成、規格の策定に貢献しております。

安全基準の変化



2020年8月期 業績見通し

2020年8月期 第2四半期連結業績見通し

当第2四半期連結累計期間においては、米中貿易問題や欧州経済の不安材料等により、当社主要顧客の業績が悪化し年間の製品開発計画が見直されました。これに伴い当社グループの経営成績にも一部影響が出たため、売上高、各段階利益ともに進捗率は50%に到達しておりませんが、現在受注は回復傾向にあります。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大は、今後の経過次第では、当社グループの事業に影響を及ぼす可能性があります。未だ顕在化しておらず経営成績や業績予想に重要な影響を及ぼす状況には至っておりません。

今後、業績に重要な影響を与えることが判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

単位：百万円

	2020年 8月期 2Q(実績)	構成比	進捗率	2020年 8月期 (計画)	構成比
売上高	1,058	100.0%	42.3%	2,502	100.0%
営業利益	139	13.2%	42.2%	330	13.2%
経常利益	141	13.4%	47.0%	301	12.0%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	90	8.6%	46.7%	193	7.7%

現在の取り組み

積雪環境下での自動運転

3年間の研究にて、通常の自動運転では困難な積雪環境での自動運転技術を獲得しました。

- 雪道対応のセマンティックセグメンテーション、センサフュージョン等の技術により実現しております。

2018年(1年目)

自動走行車の試作
積雪環境下でのデータ収集

2019年(2年目)

各センサの認識性能評価

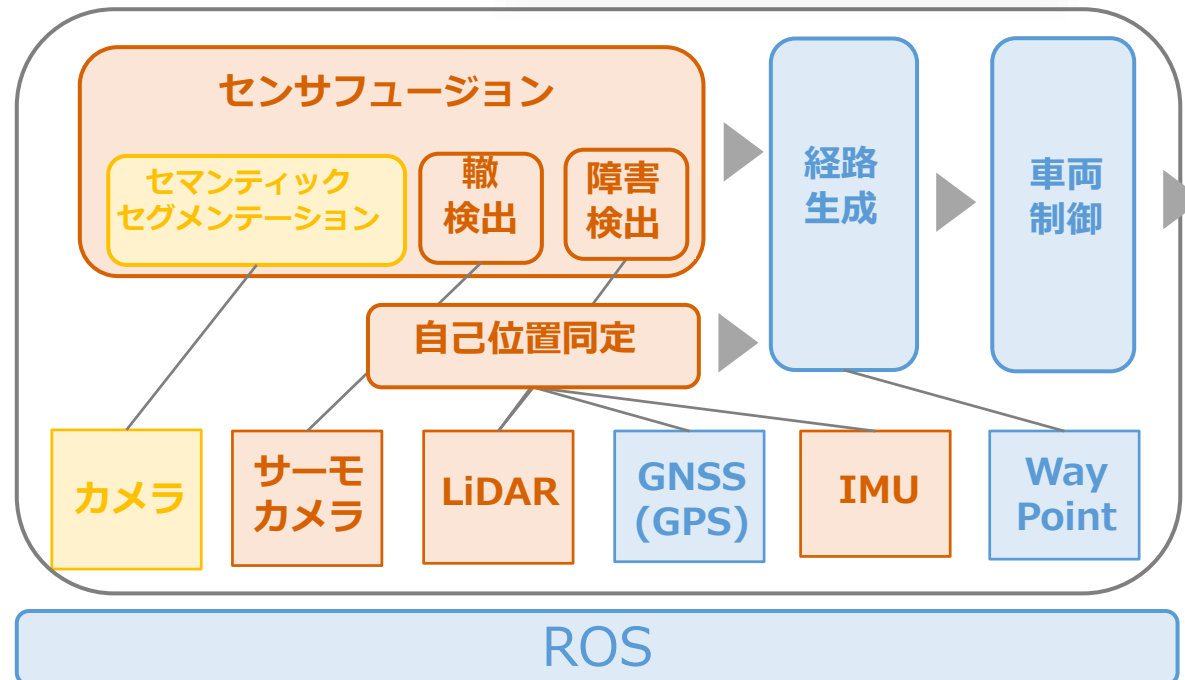
例) セマンティックセグメンテーションなど



2020年(3年目)

センサフュージョンの追加
雪道自動運転システム構築

6時間、60kmの
自動運転に成功



各種センサ搭載の実験車両「ヤマハVIKING」

積雪自動運転走行支援の映像
<https://www.youtube.com/watch?v=NSHK-xh-9iE&t=6s>

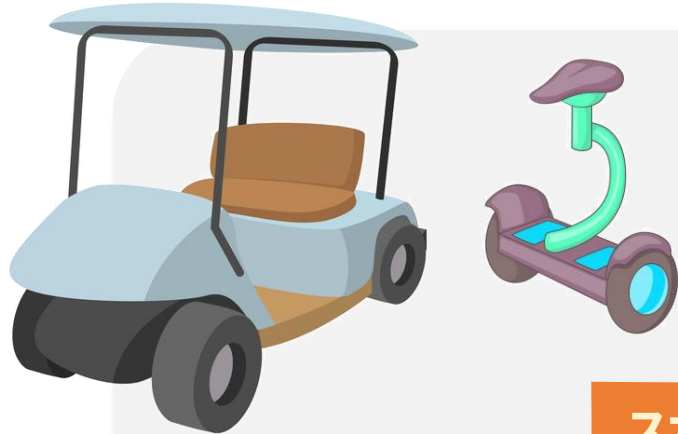
2018年研究機能

2019年研究機能

2020年研究機能

地域密着型「Town MaaS」

地方都市の交通課題を解決するために
スマートモビリティの活用 + 観光・エンタメサービス を融合させたMaaS構築を行います。



自動運転、自動配車
用途に合わせて選択できる

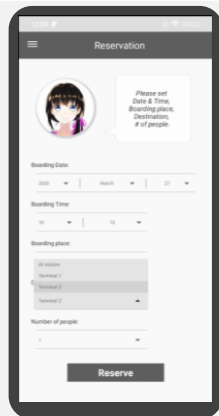
スマート
モビリティ



エンター
テイメント

移動時間を楽しむサービス

※実証実験予定
※MaaS(=Mobility as a Serviceの略)



- ・対話型
- ・画面操作型
- ・配車、予約
- ・案内サービス

誰でも簡単に操作できる
コンシェルジュサービス

コンシェルジュ
サービス

地域特性に合わせた
サービス選択

デマンド
システム



いつでも乗車可能なデマンドシステム

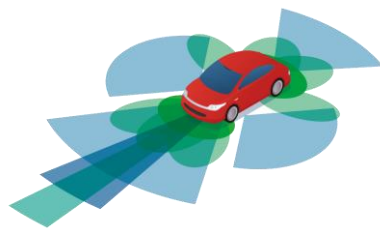
成長戦略

Mobility as a Service ×

Entertainment



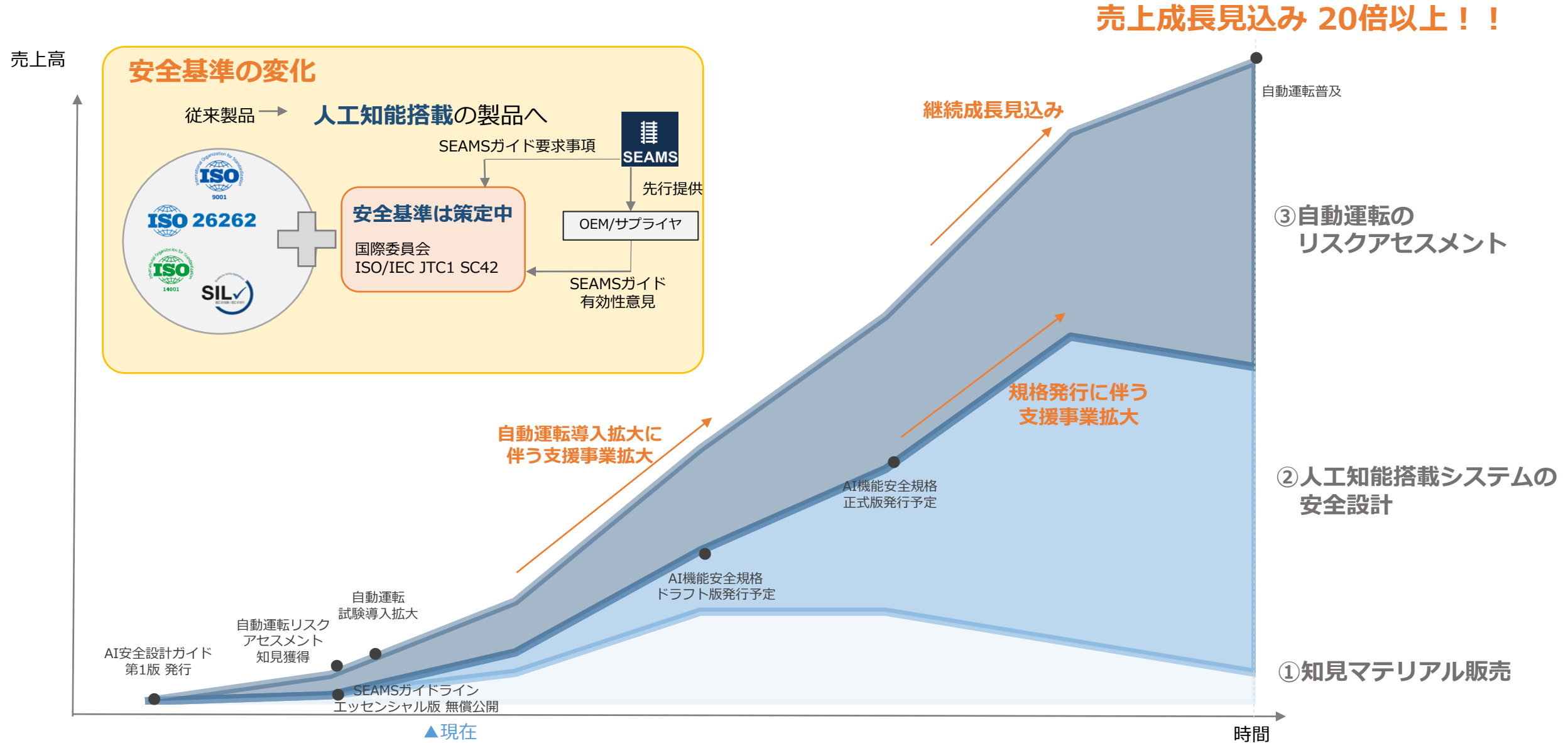
自動運転技術と
移動サービスの提案



移動時間を遊びながら
楽しむサービスの提案



人工知能＋リスク評価市場で20倍の成長を目指す



※成長見込みは、当社の機能安全等の規格対応実績から算出しております。

本資料における注意事項

- 本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後の事業運営や環境の変化等の状況の変化により大幅に異なる可能性があります。
- 今後、新しい情報・事象の発生があった場合においても、当社グループは、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報について、更新・改定を行う義務を負うものではありません。
- また、本資料に含まれる当社グループ以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、当社グループは当該情報の正確性、適性等を保証するものではありません。

(参考)新型コロナウイルス拡大防止の当社取組みについて

現時点での当社の対応は以下のとおりです。

なお、本資料公開時点までに社員・関係者の感染等の事実は確認しておりません。

【主な感染防止対策】

◆感染防止対策の徹底

- ・グループ従業員の健康確認を毎日実施
- ・体調不良者(発熱:37.5℃以上目安、倦怠感等)は出社・外出を控え上司へ連絡
- ・咳エチケット(マスクの着用)、手洗い、手指消毒
- ・ソーシャルディスタンスに配慮した就業場所
- ・設備類の消毒作業
- ・フロア移動制限

◆従業員・パートナー社員の勤務

- ・時差出勤の実施、通勤時間帯の分散を推奨
- ・可能な限りテレワークを実施

◆出張、会議、イベント参加・実施について

- ・不要・不急の国内出張の禁止
- ・海外出張の原則禁止
- ・Web会議の活用や、不急案件の会議の延期・中止
- ・イベントへの参加、開催の原則延期ならびに中止
- ・社外のお客様に対して、ご来訪の自粛をお願い